

党市議会議員 南畑さち代



8月7日から開催された長崎の原水爆禁止世界大会に参加しました。台風の方が心配される中、無事出発。広い船内での結団式を含めた時間はゆったりと過ごせました。県下全体の参加者は34名(大人26人、高校生3人、子ども5人)です。日高の女子高校生3人の参加は久しぶりだそうですね。到着後は、松坂元市議らが和歌山の皆さんから預かった折り鶴を爆心地公園に納めました。そして原爆資料館の見学のあと、いよいよ世界大会の会場へ。会場では22カ国87名の海外代表と全国からは約5000人の方々が参加されました。長崎市長や前名護市長の稲

来年はニューヨークで原水爆大会が！！

嶺進氏(オール沖縄会議共同代表)、などが挨拶され、どの内容も心に深く届くものでした。中でも一番感激したのはアメリカのジョセフ・ガーンソン氏(平和・軍縮・共通安全保障キヤンペーン議長)が「来年の被爆75年にニューヨークでも原水爆禁止世界大会を4月に開くという計画だ」と話されたことです。また「核兵器禁止条約の批准国は23カ国から25カ国へ」と大会中にも増えています。しかし、安倍首相は「核兵器国と非核兵器国の橋渡しに努め」としか言わず、核兵器禁止条約には全く触れていません。被爆者が高齢化する中、一刻も早く核兵器禁止条約に署名する政府をつくらなければとの思いを強くし帰ってきました。



県会議員 奥村のり子の
赤旗 読者ニュース
2019年8月25日 第369号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



大勢の参加
で語り合う
集会です

メガソーラー建設反対で大集会

和歌山市北部の和泉山系の各所でメガソーラー建設の計画が持ち上がっています。

一部を日刊赤旗
21日付から紹介し
ます

「和泉山系をメガソーラーから守る住民のネットワーク」は8月18日「建設反対！住民合同集会」を開きました。写真のようにたくさんの方々が参加しました。有功、直川地域で取り組んで来た方は直川、府中に計画されていたTKMデモロップメントが事業廃止を県に通知したことを報告。和歌山大学の批松昌彦教授ら3人のゲストは、和泉山系が土砂災害や洪水が発生しやすい地形・地質的要因があり、林地開発によってその危険性がさらに大きくなることなどをあきらかにしました。

野党連合政権へ新たな探求 党創立97周年記念講演で提起

本年も日本共産党の創立記念日を迎えて97周年記念講演会が8月8日開催されました。志位和夫委員長の記念講演は「共闘の4年間と野党連合政権への道」と題して、過去の講演とは一味違うものになっています。約2時間近く講演し、赤旗日刊紙10日付で4ページを使って掲載しています。とても紹介できない長文です。この4年間、他の野党のみなさんや多くの市民の皆さんと手を携え共闘の力で、2016年の参院選、17年の総選挙、19年の参院選をたたかってどういう成果と到達を築いたかを詳しく報告。「3回の国政選挙の積み重ねは国会の空気を大きく変えた」として詳報。「共闘は豊かに成長・発展した」としています。そして次は「野党連合政権にむけた話し合いの

開始を呼びかける」として、これまで聞いたことのないテーマです。共闘には解決すべき大きな課題として「政権問題での前向きな合意をつくること」と提案です。実にすばらしい提案です。もうこれ以上アベ政権に日本の政治をゆだねるわけにはいかず確固とした野党連合政権にむけた話し合いを開き、新しい探求の道に期待します。公演は面白くやさしい言葉で、また大きな拍手に埋まることや笑いもしばしばでした。みなさんぜひお読みになるかDVDで聴くことも可能です。なお本文が載った赤旗の12面下部の広告欄に、和歌山市の野崎支部の推薦文があり学習の大切さと、それを通じて昨年は4人の新入党員を迎えたとの記述にびっくりしました。

(編集室)

リレートーク

Rely talk